

〔釈文〕

天変地異ハ往古より間々／有る事書にも見へ古老の咄／に聞伝へしが今回尾州濃／州兩國非常の震災に遭／し人民が其惨苦筆紙言／葉に尽しがたし、其があらましを／記さんに、明治二十四年十月二十八日／午前六時十五分忽ち大地一／時に震、幾千の家屋を倒し、幾／百名の人を圧し、山ハ崩、地ハ龜／烈し、加ふに火を出し、岐阜、大垣／のごときハ全市悉く焼失す／又名古屋にてハ潰家災後／の類焼人畜の死傷家屋／の損害その他近界の／破損等おびたゞしく前代／未聞の珍事なり